

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1136	(H.24)No.	1136
-----------	------	-----------	------

事務事業名	学校図書館運営支援員配置事業(緊急雇用創出事業:教育総務室)		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	教育総務室	内匠 勝也	

会計区分	事業コード	463401
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 教育費	学校図書館運営支援員配置事業	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	学校図書館運営支援員配置事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐむ教育の充実
	施 策	1	学校教育
	小 施 策	2	義務教育
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
適切な図書を提供できる環境を全校で整えることが可能になり、活発な学校図書館の運営ができます。また、雇用創出に寄与することができます。
事業内容
緊急雇用創出事業を活用し、平成23年度までは破損した図書の修繕や図書のデータベース化を図りました。平成24年度からは、図書データの入力や児童への読み聞かせなど学校図書館の活発な運営支援を図ります。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	学校図書館の整備・充実 学校図書館運営支援員 8名 ・賃金(@900円) 7,179千円 ・社会保険料 1,084千円 ・消耗品費 726千円	学校図書館の整備・充実 学校図書館運営支援員 3名 ・賃金(@900円) 3,203千円 ・社会保険料 452千円 ・消耗品費 440千円			

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	8,988千円	4,095千円			
内訳(千円)					
国・県支出金	8,988	4,095			
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数					
職員	1.00人	1.00人			
臨時職員等	8.00人	3.00人			
概算人件費	(0千円) 7,700千円	7,700千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 16,688千円	11,795千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
平成19年度から6カ年の計画で支援員を配置するなどして、学校図書館の環境整備や子どもの読書活動の推進に努めた結果、読書に取り組む子どもが増えた、あるいは読書の幅が広がったなどの成果が現れています。その一方で、子どもが図書にふれる環境整備については、今後も引き続き対応すべき課題となっています。	平成25年3月策定の「第二次名張市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書資料の充実やデータベース化の推進、人的体制の整備に取り組めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	学校図書館の環境整備、取組運営の充実等により、小中学校の教育環境の向上と教育内容の充実に寄与しました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(実践内容を記載)	地域や保護者の皆様が中心となって、学校図書館ボランティア等による読み聞かせなど、児童生徒が図書に興味を持ち、読書の幅を広げる取組を行っています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
緊急雇用創出事業については、平成25年度をもって終了となる予定です。引き続き「第二次名張市子ども読書活動推進計画」に沿った取組を進めます。	・名張市子ども教育ビジョン ・第二次名張市子ども読書活動推進計画